



第68期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



HIROSE  
ELECTRIC  
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役会長 中村達朗  
代表取締役社長 石井和徳  
代表取締役副会長 串田 榮

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

第68期上半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

## 営業の概況

当上半期におけるわが国経済は、政府による経済政策および金融政策を背景とした円高の是正や株式市場の回復も進み、企業収益や雇用・所得環境の改善も見られました。一方、消費増税の駆け込み需要の反動の長期化や夏場の天候不順による悪影響により、個人消費の戻りは緩慢でさらに世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行きの不透明な状況が続いていくものと思われま

す。このような状況のもと当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向けおよび産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めるとともに高度化する市場ニーズへのさらなる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進してまいりました。

その結果、当上半期の連結売上高は623億9千6百万円（前年同期比1.2%の増）、営業利益は167億3千7百万円（同4.1%の減）、経常利益は177億5千3百万円（同2.8%の減）、四半期純利益は112億9千6百万円（同2.7%の減）となりました。

なお、株主の皆様の間配当金につきましては、1株につき115円とさせていただきます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、政府による経済政策および日銀による金融政策の効果にやや陰りが見え始め、企業業績の回復に伴う人件費の上昇、円安を背景とする原材料価格の高騰、消費税増税の影響の長期化、世界経済の減速等懸念材料も多く、先行きの経営環境は依然楽観視を許さない状況も予想されます。当社グループといたしましては、カーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車分野での成長および産業用機器・通信用機器分野での拡大、並びに低価格志向によりさらなる価格競争が予想されるスマートフォン、タブレットPC等の大量品ビジネスの維持・拡大が見込まれます。

このような環境の中で当社グループは、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、

生産拠点のリスク分散化および今後のビジネスの成長・拡大を目指したグローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいり所存であります。

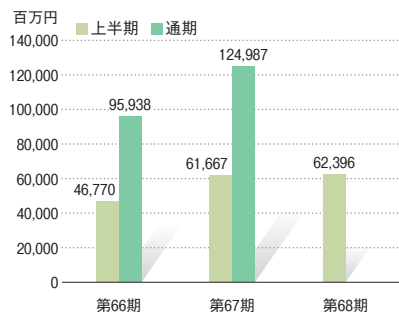
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

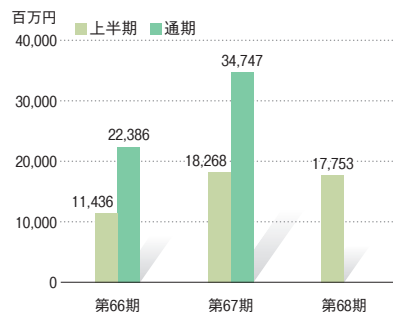
代表取締役会長 中村達朗

## 業績ハイライト

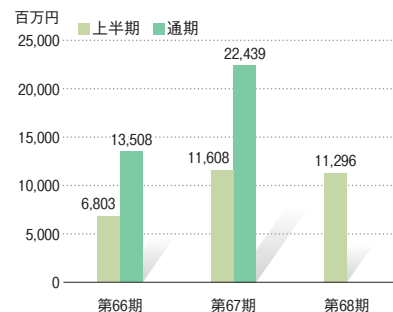
### 売上高



### 経常利益

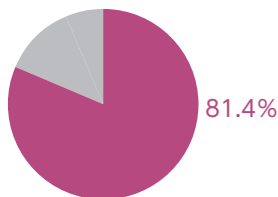


### 当期純利益

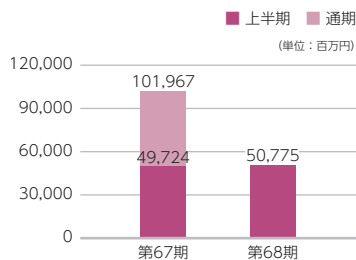


## 多極コネクタ

### 売上比率



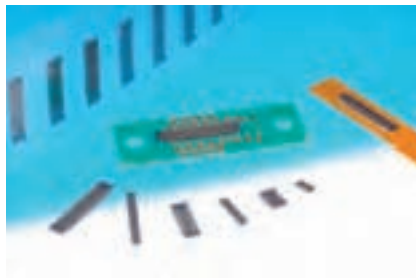
### 売上高



当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

(当第2四半期連結累計期間)

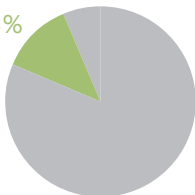
当上半期は、韓国スマートフォン市場向けビジネスは低迷したものの中国スマートフォン市場向けや自動車市場向けおよび産業用機器市場向けの受注・売上が概ね堅調に推移し、連結売上高は507億7千5百万円(前年同期比2.1%の増)、営業利益は146億5千4百万円(同2.0%の増)となりました。



## 同軸コネクタ

### 売上比率

12.3%

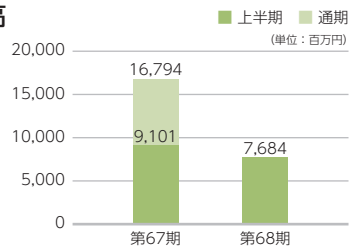


同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォンおよび伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

(当第2四半期連結累計期間)

当上半期の連結売上高は76億8千4百万円（前年同期比15.6%の減）、営業利益は19億6千6百万円（同33.4%の減）となりました。

### 売上高



## その他の製品

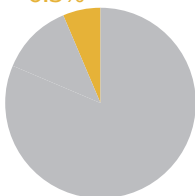
以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

(当第2四半期連結累計期間)

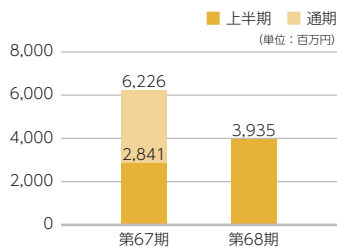
当上半期の連結売上高は39億3千5百万円（前年同期比38.5%の増）、営業利益は1億1千5百万円（同7.3%の減）となりました。

### 売上比率

6.3%



### 売上高



## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成25年度 (平成26年3月末)	平成26年度上半期 (平成26年9月末)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	126,239	132,538
受取手形及び売掛金	29,473	30,902
有価証券	30,324	29,830
商品及び製品	4,212	5,093
仕掛品	2,819	2,797
原材料及び貯蔵品	1,365	1,378
未収入金	3,078	3,149
その他	3,511	4,107
貸倒引当金	△95	△92
流動資産合計	200,930	209,705
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	31,697	36,454
無形固定資産	1,345	1,294
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	62,013	62,790
退職給付に係る資産	269	341
その他	4,576	2,945
貸倒引当金	△80	△77
投資その他の資産合計	66,777	66,000
固定資産合計	99,820	103,748
<b>資産合計</b>	<b>300,751</b>	<b>313,454</b>

科 目	平成25年度 (平成26年3月末)	平成26年度上半期 (平成26年9月末)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	11,375	12,960
未払法人税等	7,836	5,933
賞与引当金	1,575	1,748
役員賞与引当金	169	215
その他	5,073	5,317
流動負債合計	26,031	26,175
<b>固定負債</b>		
退職給付に係る負債	213	406
その他	5,341	6,036
固定負債合計	5,554	6,443
<b>負債合計</b>	<b>31,586</b>	<b>32,619</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,441	14,445
利益剰余金	295,725	303,310
自己株式	△61,766	△61,746
株主資本合計	257,805	265,413
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,750	5,380
為替換算調整勘定	5,720	9,026
退職給付に係る調整累計額	19	9
その他の包括利益累計額合計	10,490	14,417
新株予約権	63	114
少数株主持分	804	889
<b>純資産合計</b>	<b>269,164</b>	<b>280,835</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>300,751</b>	<b>313,454</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成25年度上半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	平成26年度上半期 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	61,667	62,396
売上原価	33,305	34,183
売上総利益	28,361	28,212
販売費及び一般管理費	10,909	11,475
営業利益	17,452	16,737
営業外収益		
受取利息	364	370
受取配当金	74	94
為替差益	—	240
その他	442	358
営業外収益合計	881	1,064
営業外費用		
為替差損	18	—
事務所移転費用	—	11
その他	46	36
営業外費用合計	65	47
経常利益	18,268	17,753
特別損失		
固定資産除却損	88	57
特別損失合計	88	57
税金等調整前四半期純利益	18,180	17,695
法人税等	6,446	6,322
少数株主損益調整前四半期純利益	11,734	11,373
少数株主利益	125	76
四半期純利益	11,608	11,296

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	平成25年度上半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	平成26年度上半期 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,775	14,279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,801	△8,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,125	△3,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	700	1,158
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,548	2,772
現金及び現金同等物の期首残高	45,551	50,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,100	53,697

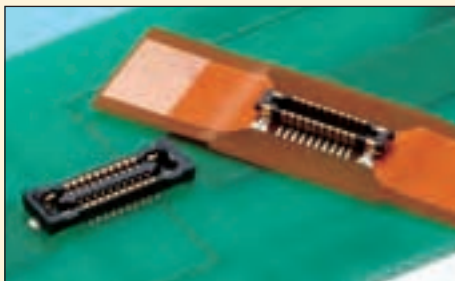
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 新製品の紹介

当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

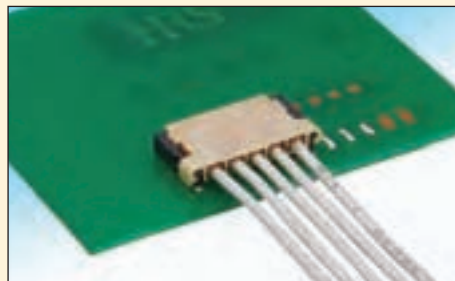
### BM24シリーズ

スマートフォン、タブレットPCの薄型化・高機能化・長時間駆動化が進むなか、コネクタについても、さらなる省スペース化が求められる状況にあります。現在、スマートフォンにおいて、メイン基板～モジュール基板の電源供給は、信号10ピン程度に分流しているため、信号用端子+10ピンのコネクタを使用しております。これに対し、4A通電可能な電源端子を2ピン備えた、多極複合基板対基板コネクタを製品化する事により、電源供給用の端子分の省スペース化を可能にしております。



### DF65シリーズ

薄型ノートPC、タブレットPC市場向けに、DCジャック、およびバッテリーバック部の接続用として開発し、LED照明など小型機器の電源用としても使用可能な小型低背電源用基板対ケーブルコネクタです。AWG24ケーブルを使用することができ、定格電流4A/ピンの高電流に対応しながら、高さ1.8mmと低背化を実現しております。また、嵌合作業性を考慮した独自の強化ロックを採用し、半嵌合防止による作業工数の削減、ケーブル引き回し時の堅牢性向上を図っております。



### EM30MSDシリーズ

蓄電システム向けに開発しました200A対応のサービスプラグです。電気回路の遮断を確実にするための開閉コネクタで、メンテナンス作業者の安全性を確保します。また活線作業防止回路を組み込む事により、プラグを安全な状態で外すことができます。屋外環境での使用も想定した防水構造(IP68)に加え、電源用端子を多接点構造にする事により接触信頼性の高い製品となっております。



### TJ※Aシリーズ

鉄道車両機器および産業機器のインターフェイスコネクタとして開発した製品です。VMEやC-PCIなどの世界標準規格ラックのフロントパネルに取り付け可能なサイズで、高密度実装を実現しました。また、コネクタを挿入しただけでロックが完了するワンタッチロックを採用し、さらに独自のロック固定機構を設けることで意図しないロック解除を防止しました。プラグ側のカバーケースはアルミダイカストによる軽量かつ堅牢構造とし、レセプタクル側は基板実装タイプ、中継タイプを取り揃えております。





## ◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



関西支店  
中部営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



## ◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



博瀬電機貿易(上海)有限公司



ヒロセコリア



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセエレクトリックUSA



ヒロセエレクトリックマレーシア



広瀬科技(深圳)有限公司



台廣電子股份有限公司



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



広瀬香港有限公司  
広瀬電機香港貿易有限公司



# 会社の概況

## 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社  
設立 昭和23年6月15日  
従業員 720名 (パートタイマーを除く)  
資本金 9,404,379,401円

## 取締役および監査役 (平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	中村 達郎
代表取締役副会長	串田 榮
代表取締役社長	石井 和徳
専務取締役	吉村 義和
取締役	二階堂 和久
取締役	飯塚 和幸
取締役	近藤 真
取締役	中村 充男
社外取締役	堀田 健介
常勤監査役	千葉 良一
監査役	松原 俊雄
社外監査役	杉島 光一
社外監査役	瀬下 明
社外監査役	三浦 健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 瀬下 明氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

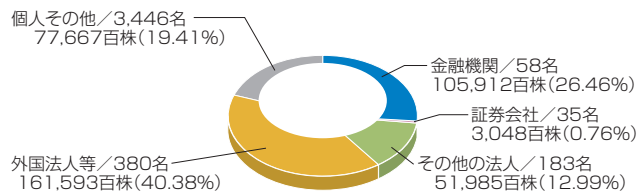
発行済株式総数 34,111,886株  
(自己株式5,908,850株を除く)  
株主数 4,102名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数
	百株
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	34,300
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	28,550
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223	26,758
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	18,074
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	8,162
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,005
みずほ信託銀行株式会社信託口07000028	7,898
みずほ信託銀行株式会社信託口07000029	7,847
有限会社エイチエス企画	7,600
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,356

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式59,088百株を保有しております。

## 株式分布 株式の所有者別状況



## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月開催

**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

**単元株式数** 100株

**公告方法** 当社のホームページに掲載します。  
<<http://www.hirose.co.jp/investor/index.htm>>  
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人  
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(郵便物送付先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** ☎ 0120-782-031

**インターネット  
ホームページURL** [http://www.smtb.jp/personal/agency/  
index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<http://www.hirose.co.jp>

